新キャンパスをもっと知る冊子

追手門学院中·高等学校

PALETTE

2018August

vol.02

「いつでも、どこでも学べる」新校舎内部を大公開!!

在校生の感想

みんなの気になるウワサ検証

特集

新キャンパスのウワサ

ウソ? ホント?

みんなが楽しみにしている新キャンパスが故に、いろんな噂がちらほらと聞かれるように。
ここでは新キャンパスにまつわるあんな噂やこんな噂を検証します!

01 エントランスが本屋さんになるってホント?

\ ウソ! /

本は販売していませんが、新校舎のエントランスは本屋さんと同じくらい書籍にあふれた空間になっています。生徒の身近に本を配置して生徒たちの探求意欲を喚起します!

02 天気の良い日はスカイデッキで授業をするらしい

\ 半分ホント! /

新校舎では教室という場所にとらわれない、生徒が主体となって学び合う、自由で新しい学びが展開されます。天気の良い日はスカイデッキでの授業も実現するかもしれません!

03 全面ガラス張りの教室になるらしい

\ ウソ! /

ガラス張りではありませんが、可動式の壁となっており、自由で開放的なスペースで授業を行うことができます。数クラス合同の授業などワクワクする取り組みも考え中!

04 階段に自由に落書きができるってホント?

\ ホント! /

新校舎の階段の壁は生徒たちの学びの成果を自由に発信することができるようになっています。階段も生徒たちの興味・関心・探求意欲を喚起するスペースになっています!

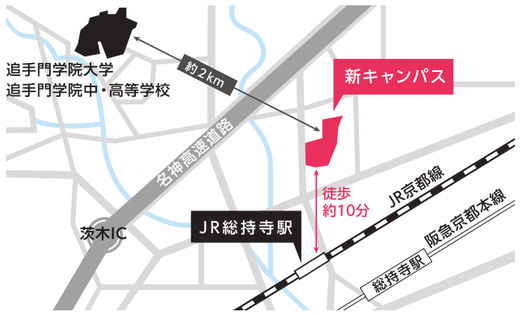
05 職員室がなくなるらしい

\ 半分ホント! /

職員室はなくなりませんが、先生は基本的に職員室にはいません。生徒たちの探究活動の拠点「Port」のすぐ側にある「Teacher station」で生徒たちの活動を見守ります!

Access Map

最寄り駅のJR総持寺駅からは徒歩約10分!グッと通いやすくなります。



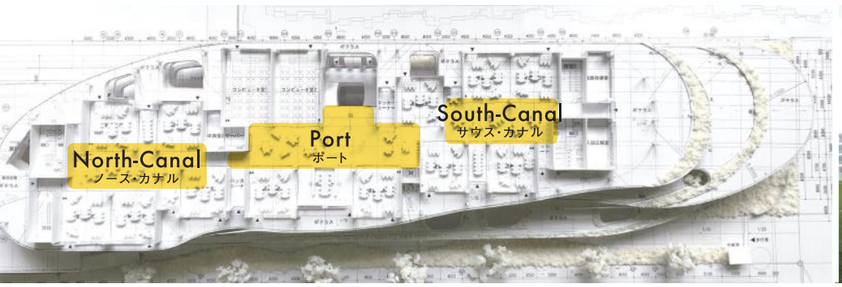
追手門学院中·高等学校

〒567-0008 大阪府茨木市西安威2-1-15　TEL 072-643-1333(代)　https://www.otemon-jh.ed.jp/

新キャンパス特設webサイト公開中

みなさんが過ごす新校舎の名前が決まりました！

新校舎 Smart Palette（スマートパレット）



新校舎4Fを上から見た図

全天候型グラウンド（人工芝）

新キャンパス

「いつでも、どこでも学べる空間」その、真意は？

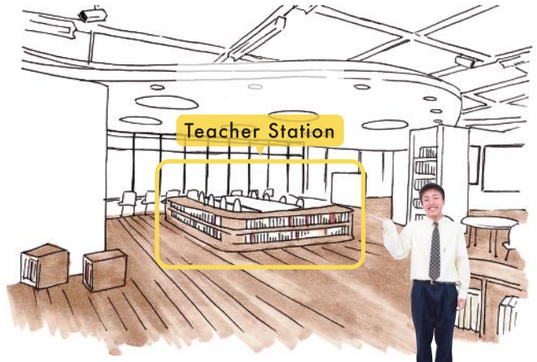
「理想は体育館のようなひとつの空間！」

キャンパス内の新校舎は、本や映像などが設置された「Port（ポート）」とラーニングスペースである「Canal（カナル）」で構成されます。すべてシームレスでつながっているので、生徒は「いつでも、どこでも」学ぶことができます。
理想としているのは、体育館のようなひとつの空間に学習スタイルに応じて椅子と机を並べ、間仕切りを設けて空間を区切り、可動式のホワイトボードを使った授業や放課後の生徒同士の学習会が展開されるイメージです。そういった授業や活動を当たり前に経験していけば自ずと順応性が養われますから、これから世の中がどう変わっても、生徒たちは社会で柔軟に対応していけると思っています。

田橋 知直先生（英語）

大型書店のような「エントランス」

「Port W（ポート ダブリュー）」と呼ばれるエントランススペース。最新の本が並び、両側の大きな壁にはプロジェクターで映像を投影します。世の中の動きを反映したトピックスや生徒が取り組んだプレゼンテーションなどの様子を流し、常にマインドセットを更新できる場にします。



探究活動の拠点「Port」

Portの1階から4階までは、学習テーマに応じた本や映像を配置した学びの場として整備します。そのすぐ近くには「Teacher Station」を設けて、先生がいつも生徒のそばで学びをコーディネート、ファシリテートします。先生と生徒をつなぐだけでなく、生徒どうし、先生どうしも学び合い、お互いの関係性を高め合います。

教室と教室をつなぐ「Canal」

教室と一体利用が可能な「Canal」では、生徒が主体となって学び合い『講義＋個別・協働・プロジェクト型』の3つの学びを展開します。教室の仕切りはすべて可動式となっており、多様な学びに応じた環境にアレンジできます。

在校生に新キャンパスのことを聞いてみた！

- 学びを共有できるようになるのがすごい。
- いろんなところに本があり、分からないことや疑問に思ったことをすぐに調べられるところがいい。
- 決められたスペースで学習するだけじゃなく、新校舎全体を使って積極的に学び、友達との交流を深めたい。
- 教室の壁が自由に動くということで、他学年の先輩とも交流が持ちやすくなる。
- Teacher stationで先生との交流を増やしたい。
- 自由にのびのびと学習できる気がする。
- 自由に使えるスペースが増えるので、今よりももっと活発な話し合いができそう。
- 授業や教室の枠にとらわれずにいろんな学び方ができそう。
- 興味があるものを新しく見つけることができそう。
- ほかの学校にないような施設なので、探求意欲がわきそう。
- 人工芝のグラウンドを待ちのぞんでいました。

2018.07 新キャンパス工事現場のいま。

2019年3月の完成を目指して着々と工事が進み、曲線を基調とした特徴的な校舎の全貌がわかるようになってきました。